



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 フジッコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2908 URL <https://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 小段 健男 TEL 078-303-5921

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	13,836	△0.7	242	—	410	145.1	244	272.3
2025年3月期第1四半期	13,931	2.2	6	△95.9	167	△47.0	65	△67.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 514百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △7百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	8.59	—
2025年3月期第1四半期	2.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	78,770	68,457	86.9
2025年3月期	79,429	68,596	86.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 68,457百万円 2025年3月期 68,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,700	2.3	500	93.9	650	44.5	450	18.9	15.81
通期	58,500	2.5	1,650	45.9	1,900	22.2	1,350	41.8	47.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	30,050,759株	2025年3月期	30,050,759株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	1,580,759株	2025年3月期	1,582,059株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	28,469,475株	2025年3月期1Q	28,466,455株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当四半期の経営成績の概況	2
（2）当四半期の財政状態の概況	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
（1）四半期連結貸借対照表	3
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
（継続企業の前提に関する注記）	7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	7
（セグメント情報等の注記）	7
（重要な後発事象の注記）	8
3. 補足情報	10
（1）販売の状況	10
（2）研究開発活動	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復傾向で推移しておりますが、米国の通商政策の影響や金融・資本市場の変動等により、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、物価高騰による消費マインドの下振れは継続することが予想され、依然として厳しい経営環境が続くものと推測されます。

このような環境の中、当グループにおきましては、「2025-2027中期経営計画」の初年度として、基本方針「従業員の力を結集させ、お客様と共に昆布と豆の未来を創造する」を掲げ、コアビジネスの事業強化と中長期の収益基盤構築に向けた取り組みを進めております。中でも、ヨーグルトは、昆布、豆に続く第3の柱として成長させるべく、現在新商品の上市に向けた準備を進めております。

販売面では、惣菜製品、ヨーグルト製品が前年実績を上回ったものの、デザート製品、昆布製品、豆製品が前年実績を下回り、売上高は138億36百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

利益面では、値上げの実施や投資効率を踏まえた広告宣伝投資の投下タイミングの見直し等により、営業利益は2億42百万円（前年同四半期は6百万円）となりました。経常利益は受取配当金による収入等があり、4億10百万円（前年同四半期比145.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2億44百万円（前年同四半期比272.3%増）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品は、包装惣菜、日配惣菜ともに前年実績を上回りました。包装惣菜は、「おぼんざい小鉢」と「朝のたべるスープ」が好調に推移しました。日配惣菜は、新規取引先の開拓が順調に進み、売上を伸ばしました。

昆布製品は、物価高騰の中で、お得感のある塩こんぶの大容量タイプが販売を大きく伸ばしました。カップ佃煮「ふじっ子煮」は、3月に実施した値上げによる物量の低下を価値販売で補う方針でしたが、販売を伸ばしきることができませんでした。6月から「ふじっ子煮」の需要創造企画として、ごはんのお供だけでなく、調味料用途としての新たな食べ方を訴求しました。

豆製品は、袋タイプの煮豆や蒸し豆が苦戦したものの、食べきりサイズの「おまめさん豆小鉢」が全体を牽引し、前年実績と同水準での着地となりました。「おまめさん豆小鉢」は5月から6月にかけてTVCMを全国で放映し、手軽に健康的な食卓を実現するというブランド価値の訴求に取り組みしました。

ヨーグルト製品は、主力の「カスピ海ヨーグルト」と「まるごとSOYカスピ海ヨーグルト」が好調に推移しました。カスピ海ヨーグルトの「とろお〜もっち食感」を訴求した売場展開に取り組むことで、販売を順調に伸ばしました。

デザート製品は、前年実績を下回りました。「フルーツセラピー」は、3月に実施した値上げで苦戦を強いられましたが、バンドル企画等で買い上げ点数の増加に取り組みました。5月から、SNS上で「フルーツセラピー」の情報発信とプレゼントキャンペーンを実施しており、ブランドの強靱化とロイヤリティ向上に取り組んでおります。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億59百万円減少し、787億70百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6億10百万円減少し、339億31百万円となりました。これは主に、期末配当金の支払及び退職給付信託への拠出による現金及び預金の減少があったこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ48百万円減少し、448億38百万円となりました。これは主に、保有する投資有価証券の時価評価の増加があった一方で、有形固定資産の減価償却が進んだこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、87億45百万円となりました。これは、仕入れの季節性に伴う買掛金の増加がある一方で、未払金や未払法人税等の支払、賞与引当金の取崩しがあったこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ4億66百万円減少し、15億67百万円となりました。これは主に、退職給付信託の設定に伴う退職給付に係る負債の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億38百万円減少し、684億57百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加やその他有価証券評価差額金の増加、配当金の支払を通じた利益剰余金の減少等によるものです。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.4%から86.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初（2025年3月期決算発表）の予想どおり推移すると見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,692	10,837
売掛金	9,598	9,458
商品及び製品	1,552	1,750
仕掛品	314	341
原材料及び貯蔵品	11,026	10,858
その他	359	687
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	34,542	33,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,989	42,105
減価償却累計額	△27,737	△28,013
建物及び構築物（純額）	14,252	14,092
機械装置及び運搬具	34,027	34,172
減価償却累計額	△24,711	△25,121
機械装置及び運搬具（純額）	9,315	9,050
工具、器具及び備品	2,407	2,403
減価償却累計額	△1,801	△1,825
工具、器具及び備品（純額）	605	578
土地	11,975	12,031
建設仮勘定	228	333
有形固定資産合計	36,377	36,085
無形固定資産	713	698
投資その他の資産		
投資有価証券	3,944	4,348
繰延税金資産	618	452
長期預金	1,000	1,000
その他	2,239	2,258
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	7,796	8,054
固定資産合計	44,887	44,838
資産合計	79,429	78,770

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,855	4,092
未払金	3,449	3,555
未払法人税等	294	119
未払消費税等	151	204
賞与引当金	479	129
預り金	77	261
その他	491	381
流動負債合計	8,799	8,745
固定負債		
退職給付に係る負債	1,057	557
従業員株式給付引当金	149	146
その他	826	863
固定負債合計	2,033	1,567
負債合計	10,833	10,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	1,006	1,006
利益剰余金	62,383	61,971
自己株式	△3,046	△3,043
株主資本合計	66,909	66,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,594	1,867
退職給付に係る調整累計額	93	90
その他の包括利益累計額合計	1,687	1,957
純資産合計	68,596	68,457
負債純資産合計	79,429	78,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	13,931	13,836
売上原価	9,789	9,658
売上総利益	4,141	4,178
販売費及び一般管理費	4,134	3,936
営業利益	6	242
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	135	140
受取賃貸料	15	15
売電収入	13	19
その他	8	8
営業外収益合計	173	184
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	3	4
売電費用	8	8
その他	1	3
営業外費用合計	13	16
経常利益	167	410
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産処分損	6	13
特別損失合計	6	13
税金等調整前四半期純利益	161	398
法人税、住民税及び事業税	59	111
法人税等調整額	35	41
法人税等合計	95	153
四半期純利益	65	244
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	65	244

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	65	244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	273
退職給付に係る調整額	△25	△2
その他の包括利益合計	△73	270
四半期包括利益	△7	514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7	514
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
減価償却費	857百万円	873百万円

（セグメント情報等の注記）

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場の類似性から判断して同様・同系列の加工食品を専ら製造販売している単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（重要な後発事象の注記）

（連結子会社の吸収合併）

当社は、2025年7月7日開催の取締役会において、当社の完全子会社であるフジッコNEWデリカ株式会社（以下「NEWデリカ」といいます。）を吸収合併することを決定いたしました。

1 吸収合併の目的

当社は、コロナ禍における中食市場のニーズ変化にスピーディーに対応することを目的に、2021年8月に当社の日配惣菜の製造部門を独立させ新会社としてNEWデリカを設立いたしました。その後コロナ終息に加え、世界的なインフレによる食材価格の高騰、ガス電気等エネルギー価格の高騰、物流費上昇、人手不足による人件費上昇など取り巻く環境は大きく変化しました。

このような新たな環境に対応するため、当社はNEWデリカを吸収合併し、グループ全体として、生産・販売・物流・管理一体となったサプライチェーン全体の最適化を加速させるとともに、人財の交流や教育による人財育成に注力し、更なる事業競争力強化と経営効率の向上を図ってまいります。

2 合併の要旨

(1) 合併の日程

取締役会決議日（両社）	2025年7月7日
合併契約締結日	2025年7月7日
合併期日（効力発生日）	2025年10月1日（予定）

(2) 合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、NEWデリカは解散いたします。

(3) 合併に係る割当ての内容

NEWデリカは当社の完全子会社であるため、本合併による新株の発行およびその他金銭等の割り当てはありません。

(4) 消滅会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3 当該子会社の概要

(1) 名称	フジッコNEWデリカ株式会社
(2) 事業内容	各種食品の製造販売
(3) 資本金	90百万円

4 合併後の状況

本合併後、当社の名称、所在地、代表の役職・氏名、事業内容、資本金および決算期に変更はありません。

5 業績に与える影響

本合併は完全子会社との合併であるため、連結業績への影響は軽微であります。

（重要な子会社等の株式の売却）

当社は、2025年7月31日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社フーズパレット（以下「フーズパレット」といいます。）の当社保有株式の全てを、株式会社プロデュースカンパニー（以下「プロデュースカンパニー」といいます。）がフーズパレットと同一の社名で新たに設立した株式会社フーズパレットに譲渡することを決定いたしました。

1 株式譲渡の理由

当社は、2019年にフーズパレットを買収して以降、同社を通じて百貨店を中心とした中華総菜の販売とブランド展開を進めてまいりました。

この度当社は、2026年3月期を初年度とする「2025-2027中期経営計画」のもと、基本方針「従業員の力を結集させ、お客様と共に昆布と豆の未来を創造する」を掲げ、コアビジネスの事業強化と中長期の収益基盤構築に向けた取り組みを進めていく中で、事業ポートフォリオ見直しの一環としてフーズパレットの全株式の譲渡を決定いたしました。

2 譲渡する相手会社

プロデュースカンパニーが新たに設立した株式会社フーズパレット

3 譲渡の日程

取締役会決議日	2025年7月31日
株式譲渡契約締結日	2025年7月31日
株式譲渡実行日	2025年8月29日（予定）

4 譲渡する子会社の概要

- | | |
|----------|-------------|
| (1) 名称 | 株式会社フーズパレット |
| (2) 事業内容 | 中華総菜の製造及び販売 |
| (3) 資本金 | 90百万円 |

5 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

- | | |
|---------------|------------------------------|
| (1) 譲渡前の所有株式数 | 840,000株（議決権所有割合：100%） |
| (2) 譲渡株式数 | 840,000株 |
| (3) 譲渡価額 | 当事者間の守秘義務に基づき、非公開とさせていただきます。 |
| (4) 譲渡後の所有株式数 | 0株（議決権所有割合：0%） |

6 業績に与える影響

当社の連結業績に与える影響は軽微であります。また、2026年3月期第2四半期連結会計期間において、フーズパレットは当社連結範囲から除外される予定です。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	4,616	33.1%	4,716	34.1%	100	19,064	33.4%
昆布製品	3,911	28.1%	3,867	28.0%	△43	15,917	27.9%
豆製品	2,338	16.8%	2,338	16.9%	△0	10,483	18.4%
ヨーグルト製品	1,710	12.3%	1,727	12.5%	17	6,759	11.8%
デザート製品	873	6.3%	641	4.6%	△232	2,715	4.8%
その他製品	480	3.4%	545	3.9%	64	2,138	3.7%
合計	13,931	100.0%	13,836	100.0%	△94	57,077	100.0%

(注) 増減額は、当第1四半期連結累計期間と前第1四半期連結累計期間との比較で表示しております。

(2) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億66百万円であります。